

## ツマグロバッタ

(学名 : *Stethophyma magister*)

(写真・文 吉岡義雄)

【バッタ目バッタ科】



▲ オス(左)の体色は黄色、メス(右)の体色は褐色。翅の端の黒紋が名前の由来

その名の通り、翅の端の黒紋が目立つやや大型のバッタです。胸部の断面が長方形になるスリムな体つきはイナゴ類によく似ており、ツマグロイナゴモドキという俗称もあります。成虫は7月初旬に現れ、9月中旬にはほとんど姿を消す夏のバッタです。

背丈の高いイネ科草本が密に茂る薄暗く湿った草地を好み、水田を含む湿地や沼地、河川などの周辺、林縁の茂みで見られます。同様にイネ科草本の上で見られるナキイナゴやハネナガイナゴと比較して、大型で体重も重い本種は、より太く頑丈で背丈の高い草を好み、主にススキなどの上で活動します。地上に降りた姿が見られるのは稀で、高い跳躍力を活かして草から草へ飛び移る姿がしばしば観察されます。只見町では、例年雪解け水で広い水溜りができる山際の斜面付近でもよく見られます。

只見町では広い範囲で見られるバッタですが、全国的には絶滅が危惧される地域もあり、5県のレッドリストに選定されています。生息に適した草地の減少が原因と考えられています。

### 只見町ブナセンターからのお知らせ

「ただみ・ブナと川のミュージアム」では下記企画展を開催中です。

また、7月下旬にはバッタの観察会も予定しています。参加のご予約は前日17:00まで。皆様のお越しをお待ちしております。

#### 企画展「雪国のブナ」

会期：2023年4月15日(土)～7月24日(月)

場所：ただみ・ブナと川のミュージアム 2階ギャラリー

#### 自然観察会「夏のバッタ観察会」

河原編：開催日時 2023年7月23日(日) 8:30～10:00

集合場所 黒谷御蔵前駐車場

草原編：開催日時 2023年7月30日(日) 8:30～10:30

集合場所 ただみ・ブナと川のミュージアム